

SDGs 達成に向けた取組み

女性もいきいきと働きやすい職場を



目的・背景

我々の建設業界、特に土木など現場に出て働く業界でも人材の流入が少ない、技術者の高齢化により人手不足が加速しています。

一方で仕事の充足感や地域への貢献度はかなり大きなものかと私は思っております。

そこで弊社は男性が主であった業界に女性が足を踏み込みやすくするため環境を整えることからスタートしました。

具体的な取組内容

実施期間は令和6年5月～現在に至っております。現場での指示がしっかりとできておれば適材適所での活躍は期待できます。

内容として、まずは現場環境の見直しと女性従業員へのリテラシーの向上を図りました。

男性社会の中に女性が突然入るため、腕力で劣るからこそできることが明確に露見されてしまいます。では女性が働けない場所なのかというそうではなく、例えば運転手であれば腕力に関係なく活動できます。またブロックの間詰など細かい作業（仕上げ）においては女性のほうが感性を発揮できるかと私は考えて実際にさせていただきました。

もちろん初めてで覚えることがあり、肉体にも負担はかかるため大変だとは言っておりましたが、徐々に慣れることで少しずつ活躍をしております。



成 果

- ①オペレーターとして役割を担える。
- ②働き方改革にも貢献している。
- ③女性が入ることで男性側のモラル面もいい意味で緊張させられる。

①から説明しますと、左記で運転手として期待できるとつながるところがありまして、ダンプカーなどの運搬の運転手以外にも重機オペレーターとして現場での指揮もとれるようになること間違いのないかと思えます。

②について、小さなお子様を育てていらっしゃる方も土曜日日曜日と安心して過ごせるように週休2日制を導入させていただきました。これにより年間休日を約20日ほど増やすことに成功し、働き方改革にも大きく貢献できたかと私は思います。

③については、昨今のコンプライアンス問題に対し男性側もモラル面でよい方向に改善しているかと私は考えております。以前であればハラスメント的な発言はこの業界では見られるものでしたが、少しずつジェンダー差別やハラスメントの減少につながっているはずで。

担当者の思い

結果として弊社にとってプラスの出来事となりました。

崇高な思いがあっても実行するものと考えが変わらなければ改善はありません。この業界において新しい風が吹くことはチャンスです。未永く業界があり続けるための課題だと私は考えます。

〈代表取締役 越智 敬元〉

